

English follows Japanese

世代に受け継がれる罪 創世記 26:1-11

先週は受け継がれる信仰についてお話ししました。イサクは父アブラハムの姿を見ていたので、父と同じく子宝に恵まれない状況の中でも信仰を強く持つことができました。そしてその信仰ゆえにヤコブとエサウが生まれ、創世記の残りのほとんどがヤコブとその息子ヨセフの話となります。実際にイサクについてはあまり焦点が当てられていませんので、これから2週に渡ってイサクの生涯を見た後に、創世記 25:24-34 に戻りたいと思います。イサクの人生を見ると、そこに神が親たちに求められることの重要性と、神のご計画の中にあって家族に与えられた特別な役割を見ることができます。既に受け継がれる信仰について見ましたが、残念なことに良いことだけでなく悪いことも受け継がれていきます。イサクの人生にも受け継がれる罪を見ることができます。今日はそのことを創世記 26:1-11 から見ていきたいと思います。イサクの物語を読む前に、まずはそれによく似た彼の父アブラハムの物語を創世記 20:1-3 から読みたいと思います。「アブラハムは、そこからネゲブの地方へ移り、カデシュとシュルの間に住んだ。ゲラルに寄留していたとき、2. アブラハムは、自分の妻サラのことを「これは私の妹です」と言ったので、ゲラルの王アビメレクは、人を遣わしてサラを召し入れた。3. その夜、神が夢の中でアビメレクのところに来て、こう仰せられた。「見よ。あなたは、自分が召し入れた女のために死ぬことになる。あの女は夫のある身だ。」」感謝な事にアビメレクがサラに対して何もしていなかったので、神が裁かれることはありませんでした。この話を念頭に、お祈りしてから今日の聖書箇所を読みましよう。

そうした背景を踏まえたうえで、今日の聖書箇所である創世記 26:1-11 を読んでいきましょう。

「さて、アブラハムの時代にあった先の飢饉とは別に、この国にまた飢饉が起こった。それでイサクは、ゲラルのペリシテ人の王アビメレクのもとへ行った。主はイサクに現れて言われた。

「エジプトへは下ってはならない。わたしがあなたに告げる地に住みなさい。3. あなたはこの地に寄留しなさい。わたしはあなたとともにいて、あなたを祝福する。あなたとあなたの子孫に、わたしがこれらの国々をすべて与える。こうしてわたしは、あなたの父アブラハムに誓った誓いを果たす。そしてわたしは、あなたの子孫を空の星のように増し加え、あなたの子孫に、これらの国々をみな与える。あなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けるようになる。5. これは、アブラハムがわたしの声に聞き従い、わたしの命令と掟とおしえを守って、わたしへの務めを果たしたからである。」こうしてイサクはゲラルに住んでいたが、7. その土地の人々が彼の妻のことを尋ねた。すると彼は「あれは私の妹です」と答えた。この土地の人々がリベカのことと自分を殺しはしないかと思って、「私の妻です」と言うのを恐れたのであった。彼女が美しかったからである。イサクは長くそこに滞在していた。ある日のこと、ペリシテ人の王アビメレクが窓から見下ろしていると、なんと、イサクがその妻リベカを愛撫しているのが見えた。9. アビメレクは、イサクを呼び寄せて言った。「本当のところ、あの女はあなたの妻ではないか。なぜ、あなたは『あれは私の妹です』と言ったのか。」イサクは「彼女のことで殺されはしないかと思ったからです」と答えた。アビメレクは言った。「何ということをしてくれたのか。もう少しで、民の一人があなたの妻と寝て、あなたはわれわれに罪責をもたらすところだった。」11. そこでアビメレクは、すべての民に命じて言った。「この人と、この人の妻に触れる者は、必ず殺される。」アブラハムがしたようにイサクも不思議と同じことをしたというのは、偶然ではありません。また創世記 20 章だけを例に挙げましたが、実はアブラハムは同じ嘘を2度繰り返したことを思い出してください。最初にその共通点を見るのは創世記 12 章でアブラハムが更に関して初めて嘘をついた場面です。彼が最初に嘘をついたとき、アブラハムは飢饉を逃れるためにエジプトに下りましたが、ここでは同じ理由でイサクがペリシテ人のいるゲラルに行きました。もう一つの興味深い共通点は、イサクはもともとエジプトに行こうと思っていたことです。そうでなければ2節にあるように、神が「エジプトへは下ってはならない。わたしがあなたに告げる地に住みなさい。」とはおっしゃらなかったでしょう。更にもう一つの共通点は神がその土地に「寄留」するように言われた点です。アブラハムも自身の事をその土地の寄留者あるいは外国人と呼んでいます。創世記 23:4 でアブラハムは「私は、あなたがたのところに在住している寄留

者ですが、あなたがたのところでは私有の墓地を私に譲っていただきたい。そうすれば、死んだ者を私のところから移して、葬ることができます。」と語っています。そして神は、この地の寄留者、つまり外国人であるにも関わらず、彼を祝福するという約束をなさいます。3-5節では、神が最初にアブラハムに約束された祝福が引き継がれているのを見ることができます。「あなたはこの地に寄留しなさい。わたしはあなたとともにいて、あなたを祝福する。あなたとあなたの子孫に、わたしがこれらの国々をすべて与える。こうしてわたしは、あなたの父アブラハムに誓った誓いを果たす。4. そしてわたしは、あなたの子孫を空の星のように増し加え、あなたの子孫に、これらの国々をみな与える。あなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けるようになる。5. これは、アブラハムがわたしの声に聞き従い、わたしの命令と掟とおしえを守って、わたしへの務めを果たしたからである。」来週は、このように世代を超えて受け継がれる祝福について見ていきますが、罪を犯す前に神が祝福を約束してくださっていることに注目してください。イサクの罪は神の事を知らなかったからとか、神が自分の必要を満たして下されない方だったから、という言い逃れは通用しません。既に見た通り、イサクの信仰はその父のそれと同じくらい強いものでした。彼はこの見知らぬ土地において、神が祝福するという約束を個人的に頂いていたのを見ます。私たちは自分の罪に関して、また時には他人の罪に関しても、すぐに言い逃れをしようとします。神はイサクとの関係をはっきりさせ、次の箇所に見られるような言い訳をする余地をなくそうとでもされているようです。6-7節にはこうあります。「こうしてイサクはゲラルに住んでいたが、7. その土地の人々が彼の妻のことを尋ねた。すると彼は「あれは私の妹です」と答えた。この土地の人々がリベカのことと自分を殺しはしないかと思って、「私の妻です」と言うのを恐れたのであった。彼女が美しかったからである。」ここにイサクの罪を見ます。創世記の20章と12章で先にアブラハムが犯したのとまったく同じ罪です。イサクは自分の妻について、その美しさゆえに嘘をつき、自分の妹だと言います。彼も彼の父も、この地域に住んでいる人々のモラルについて否定的な考えを根強く持っていました。ここでは地域の支配者であるアビメレクというのは名前ではなく肩書きであると思われませんが、アブラハムの時と同じようにリベカとは結婚しようとはせず、彼らの嘘を見破りました。8節には「イサクは長くそこに滞在していた。ある日のこと、ペリシテ人の王アビメレクが窓から見下ろしていると、なんと、イサクがその妻リベカを愛撫しているのが見えた。」とあります。8節にあるヘブライ語の表現は、直訳すると「笑う」という意味ですが、互いに親密な関係にあることを意味しています。他の全ての英語の訳や日本語訳でも、笑うとではなく愛撫するなど訳されています。けれど当時の聞き手にとってはより際どい意味の言葉であったと思われる。アビメレクが何を見たにせよ、二人が兄と妹ではなく夫婦であることが一目で明らかだったのです。アブラハムの時そうであったように、ペリシテ人の統治者はアブラハムの時とは別人だったかもしれませんが、明らかに神の祝福の下にいる人よりも善人であったことが分かります。10-11節の応答を見て下さい。「アビメレクは言った。「何ということをしてくれたのか。もう少しで、民の一人があなたの妻と寝て、あなたはわれわれに罪責をもたらすところだった。」11. そこでアビメレクは、すべての民に命じて言った。「この人と、この人の妻に触れる者は、必ず殺される。」」これはその妻ゆえに人を殺そうとする男の応答ではなく、他人の結婚を尊重する男の応答です。彼が真の神に従う者であったかどうかは聖書には書かれていませんが、彼の道徳感は明確に示されています。もちろん神はイサクとリベカを見守っておられ、このような嘘が招く悪い結果から二人を守ってくださいました。ですが、アブラハムと同じように、このことがこの王やそこにいるペリシテ人への神の証しにどんな影響を与えたのかは気になることです。

さて、ここまでこの話を見てきましたが、なぜこの話が聖書に記されているのかについてお話ししたいと思います。神が関連するイサクの人生において、イサクに焦点が当てられたものは、なぜ3つしかないのでしょうか。そして、その内の一つは彼の人生における罪の一番深いところに焦点をあてているのでしょうか。旧約聖書の物語を通して何度も繰り返される重要な点は、神はご自身の目的を達成するために欠けた人々を用いられるということです。旧約聖書の中でイエスにつながる家系に属する全ての人々が、救い主の必要性を指し示しています。聖書を神の言葉として信頼できる理由の一つは、まさにこの点において聖書が正直に語っているということです。古代

文学では物語の主人公を欠点の無いヒーローに仕立て上げるのが一般的です。もしダビデ王の物語が歴史家によって単に書かれたとしたら、彼がバテシェバと不倫し、彼女の夫を殺害したことを知ることが果たしてできたでしょうか。事実、そのことを知っている人はほとんどおらず、当時の王がそのようなことをしても何の反感も持たれなかったでしょう。しかし聖書は違います。聖書の伝えようとしていることが違うのです。神様が御言葉の中で明らかにしている物語は、人間には罪という問題があり、たとえ聖書で「英雄」とされている人でさえ同じ問題を抱えているということです。今日ここにおられる方の中には、ローマ人への手紙 3:23 に「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず」と聖書にあっても、自分がその中に含まれるということに納得できていない方がいらっしゃるかもしれません。救いの最初の一步は自分に罪の問題があることを認める事です。それは、神と特別な関係にあったイエス自身の先祖たちも抱えていた問題です。また、イエスに対抗した宗教者たちが抱えていた問題でもあります。私たちが創造主である神との関係を築くのを阻む、私たち皆が抱える問題です。

ですが、この物語において罪の問題が特に真新しい話題なのではありません。一番の話題は、イサクが神との関係を持っていたことです。それが可能だったのは、イサクについて最初に見た点、つまり彼の信仰ゆえです。罪に対する答えは、イサクの子孫として後に世に来られるイエス・キリストによって与えられました。御子なる神であられるイエスは、完全に人でありながら完全に神として来られ、私たちの罪のために、私たちの代わりに十字架にかかられました。けれど死んだままではおられず、死から蘇って罪に打ち勝ちました。今や信仰によってイエスのもとに行き、その死が自分の罪のためであったことを認め、イエスを自分の主であり救い主として受け入れる者は誰でも、罪が赦され神との個人的な関係を回復するのです。エペソ人への手紙 2:8-9 には「この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。9. 行いによるものではありません。だれも誇ることをないためです。」とあります。これこそがイエス・キリストの福音であり、神から離れその御怒りの下にある罪人が、その聖なる神に受け入れられるのだという良い知らせです。ですが、それはその人が十分に善良と認められるからでも、十分罪を犯さずにいるためではありません。ただイエス・キリストを信じる信仰ゆえであり、自分たちではなくキリストの罪のない義なる存在の中に在るとされるからです。エペソ人への手紙 4:24 は私たちがキリストに在って「真理に基づく義と聖をもって、神にかたどり造られた新しい人を着る」とあります。今日、もしあなたがキリストを知らないのであれば、あなたの罪が創造主との関係を遠ざけています。今日、自分の人生をキリストに委ね、キリストを救い主として受け入れ、創造主である神の赦しと関係の回復の唯一の希望とされることをお勧めします。

最後に今日の説教で伝えたいことは、父親のパターンを繰り返すという罪の「理由」です。アブラハムから学んだこと以外に、この物語から学べることはないでしょうか。私たちと同じように、イサクもこの罪以外に様々な罪を犯してきたと思います。けれど、神はこの罪を私たちに特に知らせることを望まれました。それは同じ状況において信仰を示せなかった父親の罪深さという点に共通すると思われまます。自分の父の罪が自分自身の罪となったのです。この真理の中に現代に生きる私たちへの警告があります。子ども達は私たちが過去や現在の自信の罪についてどのように話しているかを聞いています。考えて見て下さい。イサクは父親がこの罪を犯す姿を見ていません。彼が生まれたのはアブラハムが2度目の罪を犯した後です。ですが、似たような罪を犯したということは、イサクが父親の行動を真似たことを示すためであることは明らかです。このことを何年も経ってアブラハムが息子に話したとき、あるいは異母兄弟のイシュマエルが話したとき、イサクがこうした状況に対応するのに嘘をつくというのは良い方法だと考えた可能性はないでしょうか。私のクリスチャンの友人たちの中には、自分たちがキリストから離れていたたり、キリストのために生きていなかった10代、20代の頃のことを頻繁に、しかも肯定的に話者がいます。もしかしたら私たちは知らず知らずのうちに、キリストに在る正しさよりも、私たちの罪の方がずっと楽しかったというメッセージを発しているかも知れません。子ども達に伝えるメッセージは、私たちはキリストに在って新しくされた存在であり、それは私たちが手放した

ものよりもはるかに素晴らしいものだというものであるべきです。コリント人への手紙 第二 5:17に「ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」とあるようにです。子ども達は、この世の何にもまして神に仕えることが幸いであるという思いに基づいて、私たちが常に時間や労力を使う姿を見ているのでしょうか。そうするためにはダビデ王が列王記 第一 16:11で言うように「主とその御力を尋ね求めよ。絶えず御顔を慕い求めよ。」を実践することです。子育ては決して簡単ではありません。信仰を伝えていくことは難しいことであり、それは最終的には私たちではなく神の働きです。また、私たちが罪のパターンをも伝えてしまう可能性があることを知るとき、子育てにおいて神の助けを求めるよう突き動かされます。私たちは聖霊が私たちの内におられるように、神の臨在が家庭や家族の間で明らかであるようにといつも祈るべきです。それは他の家族がキリストを知っていても、いなくても可能な事です。

最後に、私たちは子ども達に罪をどのように伝えるか注意深くあるべきです。自分の過去の罪について子ども達に嘘をつく必要はありませんが、赦しと変化のために神が与えてくださった恵みに照らして、その罪を正しく説明する必要があります。一時的な喜びについては最小限にとどめ、罪の結果を説明する必要があります。何もなかったとしても、もし私たちが神を知っていたなら、罪の結果、神との関係がぎくしゃくしてしまったでしょう。ただ、もしかしたら自分にこう問いかけるべきかもしれません。もし私たちが過去の自分の罪を懐かしく思っているとしたら、果たしてイエス・キリストを本当に知ることによってもたらされる人生の変化を経験したと言えるのでしょうか。あなたが本当の信仰を持っていない限り、信仰を次の世代へと伝えることはできません。祈りましょう。

Generational Sin Genesis 26:1-11

Last week we talked about Generational Faith. We saw that because of what he had seen in his Father Abraham, Isaac would demonstrate a strong faith, when confronted with the same childlessness his father experienced. In response to that faith, Jacob and Esau are born and the story turns to Jacob and his son Joseph for most of the rest of Genesis. There is actually very little focus on Isaac, so what I would like to do is look at the life of Isaac for the next two weeks and then come back to Genesis 25:24-34. In the life of Isaac, we see the importance of what God has called parents to do, and the unique role of families in God's plan. We already saw Generational Faith, but unfortunately, the bad can be passed on with the good, and Isaac's life also demonstrates **Generational Sin**. That is what we will see today in Genesis 26:1-11. In order to set the stage for our passage about Isaac, I want to actually begin by reading a story that will sound very similar from his Father Abraham's life in [Genesis 20:1-3](#). [From there Abraham journeyed toward the territory of the Negeb and lived between Kadesh and Shur; and he sojourned in Gerar. ² And Abraham said of Sarah his wife, "She is my sister." And Abimelech king of Gerar sent and took Sarah. ³ But God came to Abimelech in a dream by night and said to him, "Behold, you are a dead man because of the woman whom you have taken, for she is a man's wife."](#) Thankfully God withholds judgement because Abimelech has not done anything with Sarah. With that story in our minds, let's pray and then read our text for today. *Let's pray.*

With that background laid, let's read our passage for today, [Genesis 26:1-11](#). [Now there was a famine in the land, besides the former famine that was in the days of Abraham. And Isaac went to Gerar to Abimelech king of the Philistines. // 2 And the Lord appeared to him and said, "Do not go down to Egypt; dwell in the land of which I shall tell you. 3 Sojourn in this land, and I will be with you and will bless you, for to you and to your offspring I will give all these lands, and I will establish the oath that I swore to Abraham your father. //4 I will multiply your offspring as the stars of heaven and will give to your offspring all these lands. And in your offspring all the nations of the earth shall be blessed, 5 because Abraham obeyed my voice and kept my charge, my commandments, my statutes, and my laws." //6 So Isaac settled in Gerar. 7 When the men of the place asked him about his wife, he said, "She is my sister," for he feared to say, "My wife," thinking, "lest the men of the place should kill me because of Rebekah," because she was attractive in appearance. //8 When he had been there a long time, Abimelech king of the Philistines looked out of a window and saw Isaac laughing with Rebekah his wife. 9 So Abimelech called Isaac and said, "Behold, she is your wife. How then could you say, 'She is my sister'?" Isaac said to him, "Because I thought, 'Lest I die because of her.' " //10 Abimelech said, "What is this you have done to us? One of the people might easily have lain with your wife, and you would have brought guilt upon us." 11 So Abimelech warned all the people, saying, "Whoever touches this man or his wife shall surely be put to death."](#)

The similarities between the accounts of Abraham doing this and Isaac doing this same thing are uncanny and not accidental. And remember, although I only pointed out the one time in Genesis 20, Abraham actually told the same lie twice. It is in the first account of Abraham's lie regarding Sarah in Genesis 12 where we see the first connection. In that first time he lied, Abraham went down to Egypt in order to escape a famine, and here that is what motivates Isaac's move to Gerar with the Philistines. Another interesting connection is that Isaac's first idea seems to have been go to Egypt. Why

else would God tell Isaac in verse 2, **Do not go down to Egypt; dwell in the land of which I shall tell you.** Then we see another connection in that God tells him to “sojourn” in that land. Abraham describes himself as a sojourner or alien living in the land as well. In **Genesis 23:4 Abraham says, “I am a sojourner and foreigner among you; give me property among you for a burying place, that I may bury my dead out of my sight.”** Then God makes the incredible promise that in spite of being a sojourner, basically a foreigner in this land, God would bless him. Verses 3-5 carry this blessing on that God had first promised to Abraham. **3 Sojourn in this land, and I will be with you and will bless you, for to you and to your offspring I will give all these lands, and I will establish the oath that I swore to Abraham your father. 4 I will multiply your offspring as the stars of heaven and will give to your offspring all these lands. And in your offspring all the nations of the earth shall be blessed, 5 because Abraham obeyed my voice and kept my charge, my commandments, my statutes, and my laws.”** Next week our focus will be on this generational blessing but notice God’s promise to bless him that comes before his sin.

Isaac’s sin could not be excused by saying that he had no knowledge of God, or of God’s ability to provide for him. We already saw that he had a personal faith that was as strong as his father’s. Now we see that he had personally been given the promise by God that while he was in this land of strangers, God would bless him. We are very quick to try to find excuses for our sin and even for other people’s sin sometimes. It seems that God is making clear the relationship that he has with Isaac to take away any excuse there might be for what we see next in this passage. Verse 6-7 says, **6 So Isaac settled in Gerar. 7 When the men of the place asked him about his wife, he said, “She is my sister,” for he feared to say, “My wife,” thinking, “lest the men of the place should kill me because of Rebekah,” because she was attractive in appearance.** And here we have Isaac’s sin. The same exact sin that we saw Abraham commit earlier in Genesis 20 and 12. He lies about who his wife is because of her beauty and says that she is his sister. He and his father both shared a deep-seated negative view of the morals of the people who lived in this area. In this case the local ruler, with likely the title rather than name Abimelech, did not seek to marry Rebekah as had happen with Abraham, but caught them in their lie. Verse 8 says, **When he had been there a long time, Abimelech king of the Philistines looked out of a window and saw Isaac laughing with Rebekah his wife.** The Hebrew wording in verse 8 literally translates to laughing, but it implies an intimate relationship with each other. All other English translations and even the Japanese translations translate the word as caressing or something similar, not laughing. But it likely has an even more sort of “off-color” meaning to its original hearers. Whatever Abimelech saw, caused him to immediately know that they were not brother and sister, but husband and wife.

Just as was the case with Abraham, the ruler of the Philistines, who may have been, but most likely was not the same person Abraham dealt with, turned out to be more righteous than the person clearly under God’s blessing. Look at his response in verses 10-11, **Abimelech said, “What is this you have done to us? One of the people might easily have lain with your wife, and you would have brought guilt upon us.” 11 So Abimelech warned all the people, saying, “Whoever touches this man or his wife shall surely be put to death.”** This is not the response of a man who wants to kill someone for their wife, but the response of a man who respects another’s marriage. Whether he was a follower of the true God, the Bible does not say, but his morality comes out clearly. Of

course, God was looking out for Isaac and Rebekah, and protected them from any negative consequences of this lie. Although as with Abraham, you have to wonder how this could have affected his testimony for God with this King and the local Philistines.

Now that we have walked through the story, I want to talk about why this story is included in Scripture. Out of all the stories of Isaac's life that God could have related, why do we find basically only three where he is the main focus? And why is one of those focusing on this low point of sin in his life? The key point that gets repeated over and over through the narrative portions of the Old Testament is that God uses flawed people to accomplish his purpose. Every one of the figures in the Old Testament that are included in the line of Jesus, point us to the need for a Savior. One of the reasons we can trust the Bible as God's Word is precisely because of its honesty in this regard. It is typical in ancient literature to build up the heroes of stories, to not show them with flaws. If the account of King David was written purely by human historians, would we really know about his adultery with Bathsheba and murder of her husband? The fact is very few people knew about it and it would not have raised any disapproving eyebrows for kings of his day to commit such actions. But the Bible is different. The point of the Bible is different. The story that God is unfolding and making clear in His Word is that humans have a problem called sin, and even the "heroes" of the Bible have that same problem. Maybe you are here today and you are still not convinced that you are included when the Bible says in [Romans 3:23](#), *All have sinned and fall short of the glory of God*. The first step of salvation is admitting that you have a sin problem. It is a problem that even Jesus' own ancestors who had a special relationship with God had. It is a problem that the religious people who opposed Jesus had. It is the problem that you and I have that keeps us from ever being in a relationship with God our Creator.

The sin problem is not the big news in this story, though. The big news in this story is that he did have a relationship with God. The reason that was possible is because of what we first saw about Isaac – his faith. The answer for sin was provided by Isaac's descendant who would come into the world – Jesus Christ. Jesus, who was God the Son, came as fully human and still fully God, and died on the cross in our place, for our sin. But he didn't stay dead, he defeated sin by rising from the dead. Now, anyone who comes to him by faith, believing that his death was for their sin, and accepts him as Lord and Savior will be forgiven of their sin and restored to a personal relationship with God. [Ephesians 2:8-9](#) says, *“For by grace you have been saved through faith. And this is not your own doing; it is the gift of God, not a result of works, so that no one may boast.”* This is the good news, the gospel of Jesus Christ, that a sinner separated from God, and under the just wrath of God is accepted by that same holy God. But it is not through every being good enough or sin free enough. It is only by faith in Jesus Christ, and being found in Christ's sinlessness or righteousness, not our own. In Christ, [Ephesians 4:24](#) says that we *“put on the new self, created after the likeness of God in true righteousness and holiness.”* Today if you don't know Christ, then your sin does keep you from a relationship with your creator. I encourage you to give your life to Christ today, to accept him as your Savior and only hope for forgiveness and restoration to our Creator God.

But the point I want to end on in this message is the “why” behind this sin that repeats a pattern from his father. Is there anything we should learn from this story other than what we learned from Abraham? I am certain that Isaac as all of us have committed

other sins than this one. But God wanted us to know about this one specifically. The reason for that has to lie within the similarities to his father's sinful lack of faith under the same circumstances. His father's sin became his own sin. In this truth, we find a warning for us today. Our children are watching what we do. Our children are even listening to how we talk about our sin, both past and present. Think about this... Isaac never saw his father commit this sin. He was born after the second time it happened. But the similarities are clearly meant to show that he copied his dad's actions. Is it possible that in the way that Abraham related this episode to his son in years after this, or even how his half-brother Ishmael related it to him, he thought this was a good way to handle this- by lying? I have Christian friends who talk frequently and approvingly about their teenage and young adult years apart from Christ or while they were not living for Christ. Maybe sometimes we unintentionally give the message that our sin was much more enjoyable than Christlike righteousness. We need to make sure that the message we convey to our children is that we are a new creation in Christ, that is far better than anything we are giving up! Just like [2 Corinthians 5:17](#) says, *Therefore, if anyone is in Christ, he is a new creation. The old has passed away; behold, the new has come.* Do our children see us continually making choices with our time and energy that reflects that serving God is better than anything else this world offers? The way we do that is to practice what King David sang about in [1 Chronicles 16:11](#), *Seek the Lord and his strength; seek his presence continually!* Parenting is never easy. Passing on our faith is difficult and ultimately the work of God, not us. And knowing that we can also pass on patterns of sin should push us to seek God's help in parenting. Our regular prayer should be that God's presence be known in our homes and in our families as the Holy Spirit is present in us. This can happen whether the rest of our family knows Christ or not.

Finally, we need to watch how we present sin to our children. There is no need to lie to your children about your past sin, but there is a need to correctly frame that sin in light of God's grace in our lives for forgiveness and change. There is a need to point out consequences and minimize the temporary joy. If nothing else the consequences were a strained relationship with God if we knew him at all. But, maybe, we need to ask ourselves this question. If we find ourselves nostalgic and missing our past sin, have we really experienced the life change that comes from truly knowing Jesus Christ? You can only pass on faith if you truly have faith. Let's pray.